

課題改善カリキュラム（道徳）

★集団で生活する中で、自分優先の考え方になり、規則を守れないことが多い傾向にある。→きまりがある意味を見出し、誰もが充実した学校生活を送れるように考えられる児童・生徒を育てたい。

※学習活動の工夫・・・発問の工夫、教材提示の工夫、問題解決型の授業展開などを通して、児童生徒がねらいとする道徳的価値に対して多角的・多面的に考えられるよう促し、道徳的実践力を高める。

		規則の尊重／社会参画、公共の精神／公正、公平、社会主義／遵法精神、公德心		よりよい学校生活、集団生活の充実		
	道徳の内容	教材名	学習活動の工夫	道徳の内容	教材名	学習活動の工夫
小1	C-（10） 規則の尊重 約束やきまりを守り、みんなが使う物を大切にすること。	どうして こう なるのかな	同じような経験があるか問いかけて、自分のこととして考えられるようにする。3つの場面を順番に提示することで、学習内容がはっきり分かるようにする。「誰がどのようなときに困るか」など多様な状況設定を行う。	C-（14） よりよい学校生活、 集団生活の充実 先生を敬愛し、学校の人々に親しんで、学級や学校の生活を楽しくすること。	がっこう だいすき	教材がイラストなので、自由に発言させ多様な思考を促す。次に、意図するねらいに導くために「なぜ、みんな笑顔なのですか」などの補助発問をする。入門期であるので、発表の仕方や道徳の授業の約束も同時に指導する。
		みんなが つかう ばしょだから	経験を想起させたり、ロールプレイを行ったりして問題場面がイメージできるようにする。めあてに立ち戻り「公共の場所での過ごし方」という観点で今後の学校生活を考えさせる。		とりかえっこ	同じような経験がないか振り返らせ、自分のこととしてすすんで考えさせる。また、教材が漫画のレイアウトで構成されているので、どこを見てよいか混乱しないように拡大した教材を掲示するなど配慮する。
小2	黄色いベンチ	どんなきまりが あるかな	自分がベンチを汚した児童だったらどのような気持ちになるか問いかけるなど自分に置き換えて考えさせる。教材文の場面の後、どのように行動すればよいか考え、意見を聞き合う中で色々な解決方法があることに気付かせる。	C-（15） よりよい学校生活、 集団生活の充実 先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力し合って楽しい学級や学校をつくること。	しょうかいします	教材の「ぼく」がどのような気持ちで学校を紹介したのか想起してから、自分の学校のよいところを考えさせる。また、理由も一緒に考えさせて多様な意見を認め、多面的・多角的にな見方を養う。
		きまりのない国	「もしもきまりがなかったら」という設定で、どのようなことをしたいか交流させる。教材を区切り、場面毎に登場人物の気持ちを考えさせる。その上できまりがあるからみんなが気持ちよく過ごせることを押さえる。		クラスの大へんしん	イラストの女子の台詞（吹き出し）を考えさせてから、自分ならどのように思うか共感的に理解させる。その後「どのような行動」が「なぜ困るのか」理由を述べさせてから、望ましい行動を考えさせる。
小3	C-（11） 規則の尊重 約束や社会のきまりの意義を理解し、それらを守ること。	かるた遊び	同じような経験がないか問いかけた上で、自分たちならどのようなきまりにするか考えさせる。多様な意見を取り上げて様々な解決方法があることを理解させる。	C-（16） よりよい学校生活、 集団生活の充実 先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力し合ってよりよい学級や学校をつくることとともに、様々な集団の中での自分の役割を自覚して集団生活の充実に努めること。	よろしくギフト	ほのかが「よろしくギフト」を読んでどのような気持ちになったか考えさせ、自分ならどのようなことをクラスのためにしたいか考えさせる。また、授業後も掲示物などを使用して継続的に指導する。
		このままにしていたら	ごみや資源について知ることができるコラムを活用して規則の尊重や環境についてグループで話し合い、規則を守る実践意欲をもてるようにする。		学校のぶどう	登場人物がぶどうの木のお世話をすることでどのような気持ちになるかを考えさせ、自分たちが学校のためにできることを考えさせる。授業後、実際によりよい行動をしている児童を取り上げて、クラス全体に広げていく。
小4	雨のバス停留所で	並んでいた人たち、よし子、お母さんの役割演技をすることで、それぞれの立場から感じたことを発表し合い、いろいろな側面から社会のきまりを守る意義を理解させる。	「もしもきまりがなかったら」という設定で、どのようなことをしたいか交流させる。教材を区切り、場面毎に登場人物の気持ちを考えさせる。その上できまりがあるからみんなが気持ちよく過ごせることを押さえる。	C-（15） よりよい学校生活、 集団生活の充実 先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力し合って楽しい学級や学校をつくること。	みんな、待っているよ	事前に「自分のクラスのよいところ」をアンケートで聞き、展開後段で生かせるようにする。
		公園のきまりを作ろう	公園の絵を見て、自分たちで実際にきまりを作ることで、どのようなことを大切に公園のきまりが作られているか考えられるようにする。		わたしたちの校歌	自分たちの学校の校歌の中で好きな言葉をグループで話し合い、校歌について考えを深めたことを踏まえ、これからの学校生活でどのような心構えをもちたいか書く。
小5	C-（12） 規則の尊重 法やきまりの意義を理解した上で進んでそれらを守り、自他の権利を大切にし、義務を果たすこと。	お客様	「わたし」の気持ち以外に、「お客様なんですよ」と言った人の思いや考え方について考えることで、多面的・多角的な思考を促すようにする。	C-（16） よりよい学校生活、 集団生活の充実 先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力し合ってよりよい学級や学校をつくることとともに、様々な集団の中での自分の役割を自覚して集団生活の充実に努めること。	わたしは飼育委員	導入で自分が所属する委員会の仕事内容を振り返ることで、自分の生活の中で「役割を果たす」とはどのようなことなのか具体的に想起できるようにする。
		世界人権宣言から学ぼう	「世界人権宣言」から学んだことを、クラス目標を作るときに実際に生かすことで、人権について身近に捉えられるようにする。		ケンタの役割	ケンタが取ることができる行為をできるだけ多く考え、それぞれのメリットとデメリットを考えることで、よりよい解決方法を考えられるようにする。
小6	ここを走れば	切羽詰まった状況でも規則を守る態度を貫くかという揺さぶりをかけ、グループごとに話し合ったことについて黒板に掲示することで、対話が活発になるようにする。	「世界人権宣言」から学んだことを、クラス目標を作るときに実際に生かすことで、人権について身近に捉えられるようにする。	C-（16） よりよい学校生活、 集団生活の充実 先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力し合ってよりよい学級や学校をつくることとともに、様々な集団の中での自分の役割を自覚して集団生活の充実に努めること。	子ども会のキャンプ	自分が実際に子ども会の班長になった場面を想起させ、みんなに詰め寄られた場合どのような行動を取るか考えさせることで、身近な問題として考えられるようにする。
		島 耕作 ある朝の出来事	島耕作とサラリーマンのやりとりをロールプレイで再現し、社会の一員として公共の場における態度について考えさせ、T.P.Oに応じた行動を考える。		六年生の責任って？	各自が誰の意見に賛成か立場を明確にしてグループで話し合うことで、よりよい学校生活にしていくための責任とはどのようなものか具体的に考えられるようにする。
中1	C-（12） 社会参画、公共の精神 社会参画の意識と社会連帯の自覚を高め、公共の精神でよい社会の実現に努めること。	バスと赤ちゃん	「公共の場」は自分だけの場でないことを押さえた上で、心情カード等を用いて全員が考える場を工夫し、互いへの配慮と思いやりをもつ気持ちのよい社会をつくらうとする道徳的実践意欲を培う。	C-（15） よりよい学校生活、 集団生活の充実 教師や学校の人々を敬愛し、学級や学校の一員としての自覚をもち、協力し合っ てよりよい校風をつ くるとともに、様々 な集団の意義や集団 の中での自分の役割 と責任を自覚して集 団生活の充実に努め ること。	小さな一歩	班を編制して美化委員会がうまくいく方法についての話し合い活動を通して、集団の一員としての役割と責任を自覚し、協力し合って集団生活の向上に努める道徳的態度を育成する。
		路上に散った正義感	新聞記事・社説・投書について議論しつつ事件に固執せず、幅広く自分の周囲で平然と行われている不正行為やいじめについても考えさせ、傍観者の無責任さを理解し、不正を断固許さない態度を育成する。		私もしじめた一人なのに…	心情円盤等を活用して筆者の思いを追いながら、見て見ぬふりをする消極的姿勢を憎み、いじめや不正を断固として許さぬ心を行動で表す道徳的実践意欲を培う。
中2	C-（11） 公平、公正、社会主義 正義と公正さを重んじ、誰に対しても公平に接し、差別や偏見のない社会の実現に努めること	ひとりぼっち	いじめの実体験を綴った資料を活用するが、自殺が決して問題解決にならないことを押さえる。命の大切さを理解させた上で、筆者を追い込んだものについて考えさせ、冷静に自分自身の心と向き合う自問の機会を設ける。	C-（15） よりよい学校生活、 集団生活の充実 教師や学校の人々を敬愛し、学級や学校の一員としての自覚をもち、協力し合っ てよりよい校風をつ くるとともに、様々 な集団の意義や集団 の中での自分の役割 と責任を自覚して集 団生活の充実に努め ること。	明かりの下の燭台	自分が所属している集団（学校・学級・部活動等）とそこでの役割を振り返らせ、基本発問から中心発問へと進むことで、集団の中で自分の個性を生かし、一員としての役割と責任を果たそうとする道徳的実践意欲を培う。
		招集通知 ～あなたが裁判員になる とき～	裁判員制度についてのイメージを自由に発言させた後、司法参加という国民の権利義務について自分自身の立場に置き換えてグループ討議し、法の意義を考え社会の秩序と規律を高めようとする態度を育成する。		校門を掘る子	70周年の節目を迎えた豊玉中学校は、生徒同士はもちろん地域の人々との信頼関係を背景に、仲間が集い、共に多くの時を共有する場であるからこそ、学校の主役は自分たちであるという自覚を深め、誇りをもてるように話し合う。
中3	C-（10） 遵法精神、公德心 法やきまりの意義を理解し、それらを進んで守るとともに、そのよりよい在り方について考え、自他の権利を大切に、義務を果たして規律ある安定した社会の実現に努めること。	元さんと二通の手紙	社会の決まりやルールについて認識させた上で、同情から規則を破った主人公の行為の問題点についてグループ討議し、きまりを遵守し確実に義務を果たすことで、よりよい社会をつくらうとする道徳的実践意欲を培う。	C-（15） よりよい学校生活、 集団生活の充実 教師や学校の人々を敬愛し、学級や学校の一員としての自覚をもち、協力し合っ てよりよい校風をつ くるとともに、様々 な集団の意義や集団 の中での自分の役割 と責任を自覚して集 団生活の充実に努め ること。	監督がくれたメダル	集団に所属している立場によって自己の役割が異なることを自覚させた上で資料を読み、自分の立場を受け入れられない主人公と、適材適所で人選した監督の気持ちを推測し、集団の中で自己を生かすことが豊かな生き方につながることを理解させる。
		元さんと二通の手紙	社会の決まりやルールについて認識させた上で、同情から規則を破った主人公の行為の問題点についてグループ討議し、きまりを遵守し確実に義務を果たすことで、よりよい社会をつくらうとする道徳的実践意欲を培う。		卒業文集最後の二行	三十年以上の歳月が経っても消えぬ心の闇となっている筆者のいじめ体験の手記を読んだ後、ロールプレイを実施する。傲慢で身勝手な筆者と、黙っていじめに耐えるT子に対比的に捉え、人間としての生き方を考えさせる。